

秋季 堺文化財特別公開

— 千利休の生まれた街 堺 —

■公開期間 11月14日(金)～16日(日)、21日(金)～24日(月・祝)

■時間 9:30～16:30(16:00受付終了)

■拝観料 南宗寺、天慶院、徳泉庵、海会寺、大安寺、片桐棲龍堂は1カ所400円、小中学生は200円
共通拝観券1,000円(拝観券3枚つづり(拝観券または呈茶券として利用可能))

(+堺市博物館(基本展示のみ)+町家歴史館「山口家住宅」・「清学院」入館券付)

呈茶券が使用できる箇所 天慶院(公開日のみ)・伸庵(立礼席)・喫茶ミエール・山口家住宅(22日・23日のみ)・開口神社(15日・16日のみ)
公開期間中、市内各観光案内所と共通拝観券を使用できる箇所(有料公開箇所等)でも販売します。

*公開箇所では、観光ボランティアガイドが解説します。

*寺院の行事等で、公開不可場合があります。

*拝観されるにあたり、公開物に触れる等、他のお客様のご迷惑にならないようマナーを守ってご拝観ください。

共通
拝観券が
お得!!



1 南宗寺

拝観券 外部 内部

B-4



弘治3年(1557)三好長慶が建立し、武野紹鷗や千利休らが禅の修行を行った。利休好みの茶室「実相庵」を特別公開。
境内には千家一門の供養塔、武野紹鷗の供養塔があり、名勝枯山水庭園と伝説の徳川家康の墓は必見。仏殿(重要文化財)の天井には「八方睨みの龍」が描かれている。

公開内容:本堂、茶室「実相庵」
日時:11月14日(金)～16日(日)
21日(金)～24日(月・祝)

「八方睨みの龍」の不思議を是非ご体験ください!



2 天慶院

拝観券 外部 内部

B-4



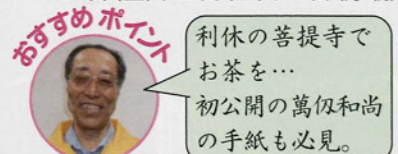
天正元年(1573)に建立。
千利休が堺に住んでいた頃、檀家であったと「全堺詳誌」に記されている。武野紹鷗好みの茶室「大黒庵」は、千利休の茶室とは異なり、貴人口が設けられ、仏間もある。
初公開の「南宗寺萬仞宗岱利休由緒概軸極二付書状」は、南宗寺の萬仞宗和尚から、堺の町総年寄 細屋彦右衛門へ充てられたもの。

公開内容:紹鷗好み茶室「大黒庵」、山上宗二の供養塔、路地庭、笑嶺和尚筆「海眼菴」板額、「南宗寺萬仞宗岱利休由緒概軸極二付書状」

日時:11月14日(金)～16日(日)
21日(金)、22日(土)、24日(月・祝)

ちよせ一服 呈茶券

呈茶一服 400円
和菓子付 10:00～16:00
共通拝観券についている呈茶券が利用可能



3 徳泉庵

拝観券 外部 内部

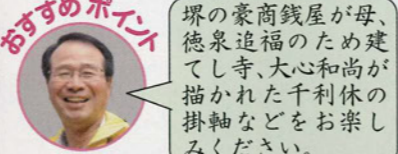
B-3



慶安元年(1648)清巖和尚を開祖とし創建。本堂に飾られている「徳泉庵」・「雲」の額は、清巖和尚の直筆。
「大心和尚自画賛・利休居士」は利休の140年忌に際して、学僧として有名な大心和尚が描いたもの。

公開内容:本堂、大心和尚自画賛・利休居士、大心利休数寄(利休居士茶道心得写大心和尚、頂相(清巖和尚)、頂相(萬仞和尚)、釈迦涅槃図

日時:11月14日(金)～16日(日)、21日(金)～24日(月・祝)



呈茶一服 500円
11月15日(土)～16日(日)
22日(土)～24日(月・祝)
※共通拝観券についている呈茶券は利用不可

4 海会寺

拝観券 外部 内部

B-4



ご住職による禅宗における遺儀についての話(千利休の辞世の句にも触れます)11月22日(土) 11:00～12:00本堂にて、無料(拝観料別途要)定員:50名

大坂夏の陣後、南宗寺の住職であった沢庵宗彭の助力によって、南宗寺の寺域に再興された。
本堂、庫裏、門廊は17世紀前半の建物で、本堂と庫裏が接続し、機能的に一体化した貴重な遺構として、重要文化財に指定されている。美しい石庭(指月庭)は必見。

安土桃山時代から江戸時代初期にかけて活躍した臨済宗の僧文英清韓は大坂の陣のもとになった方丈寺の鐘銘を書いた人として知られる。今回、墨蹟屏風6曲1双の右隻と左隻を初めて同時に公開する。

公開内容:本堂、門廊【重要文化財】、文英清韓墨蹟屏風

日時:11月14日(金)、21日(金)～24日(月・祝)



本堂と庫裏が機能的に一体化した江戸初期の貴重な建物です。



5 大安寺

拝観券 外部 内部

B-4



本堂は、堺の豪商納屋(呂宋)助左衛門の屋敷を移したと伝承される総檜造りの建物。本堂と共に重要文化財に指定されている障壁画は、17世紀前半の狩野派の作と考えられ、四室にわたって鶴・猿・松・藤などが見事に描かれており、桃山時代から江戸時代の堺の繁栄を今に伝える。初公開の獅子香炉(寺宝)は必見。

公開内容:本堂、障壁画【重要文化財】、獅子香炉
日時:11月14日(金)～16日(日)、
21日(金)～24日(月・祝)

狩野派の襖絵とボランティアガイドがお待ちしております。至福のひとつ時を大安寺で!



6 發光院

拝観券 外部 内部

B-3



本尊は室町時代に作られたと推定される愛染明王で、縁結びの仏様として広く知られており、通称「あいぜんさん」とも呼ばれている。毎年5月31日・6月1日に、愛染まつりを催している。
南蛮貿易の時代、シャム(タイ国)よりもたらされた堺の貿易商人具足屋ゆかりの降魔釈迦銅像は、空襲で破損したが、修復され、今回初公開となる。

公開内容:本堂、降魔釈迦銅像
日時:11月14日(金)～16日(日)、21日(金)～24日(月・祝)

初めて公開される愛染さん、シャム伝来のお釈迦さま、共に空襲の火難を免れて今に伝わる、ありがたい仏さまです。



7 菅原神社

拝観券 外部 内部

C-2



今から千年以上前、菅原道真が太宰府の地で作った木像が堺の浜に流れ着き、それをお祀りしたことが始まりとされる。堺北庄の氏神。茶室「紅梅軒」は慶安年間(1648～1651)に建てられたと伝わり、豊臣秀吉から贈られた八重咲きの摩耶紅梅にちなんで命名された。

公開内容:庭園、茶室「紅梅軒」
日時:11月21日(金)～24日(月・祝)

江戸時代の楼門や茶室の紅梅軒は一見の価値あり!利休の師である紹鷗ゆかりの井戸のある庭園もすばらしいですよ!



薬祖祭 11月23日(日)
青竹酒、長寿ぜんざいの授与を10時から行います。

8 浄得寺 外部 内部 C-2



聖武天皇の勅願で、天平年間、行基によって建立。境内には、千利休の孫弟子である隠岐宗物のお墓がある。漆塗りの駕籠は代々の住職が乗ったもので、網代造りに障子と蚊帳が貼られている。江戸時代の瓦師・下田源兵衛が製作した堺瓦を特別展示。



公開内容: 本堂、襖絵、駕籠、隠岐宗物の墓、堺瓦
日時: 11月21日(金)~24日(月・祝)

海船御堂と呼ばれ、地名「七道」のおこりといわれている寺院です。是非お話を聞きに来てね。



9 堺市茶室「伸庵」 外部 内部 C-5



数寄屋普請の名匠「仰木魯堂」が昭和4年に建てた「伸庵」。今回初めて、平三畳台目の茶室を公開。室内から見える庭の風情も必見。
公開内容: 仰木魯堂設計の茶室



【登録有形文化財】
日時: 11月21日(金)、22日(土)

ちよと一服 呈茶券
【立礼席】
・時間: 10:00~16:00
・定休日: 月曜日
(ただし、11月24日は閉館)
・呈茶料: 300円(干菓子付き)
共通拝観券についている呈茶券が利用可能
お問い合わせ: 072-247-1447

茶の湯を身近に体験できる立礼席を設けた風雅な二階建ての茶室です。



10 片桐棲龍堂 拝観券 外部 内部 B-4



老舗の漢方薬専門店。国登録文化財の医家屋敷でもある。本庭園は、現存する江戸時代の「茶庭」として、歴史的にも貴重な庭園。(堺市指定名勝第一号) 今回は、国宝「医心方」で有名な半井一族の医学資料を初展示。堺の医者で文化人の半井驢庵の名が出てくる「北野大茶湯ノ記」も特別展示。



公開内容: 庭園【市名勝】、半井一族の医学資料
日時: 11月23日(日)

江戸時代の風情が残る御屋敷と庭園で堺の「お宝」を探してください。



11 鉄砲鍛冶屋敷 外部 内部 C-1



種子島に伝わった鉄砲の製法を橋屋又三郎などが堺に伝えてから、堺は日本一の鉄砲生産地になった。町家建築として最古の部類に属し、江戸時代の鉄砲の生産現場など鉄砲鍛冶屋敷の面影を残す唯一の貴重な建築物を公開。



公開内容: 鍛冶場【市指定文化財】
日時: 11月24日(月・祝)

日本唯一の鉄砲鍛冶屋敷にあっと驚く新しい鉄砲鍛冶の歴史発見。



特別公開箇所一覧 拝観券 拝観料が必要(共通拝観券使用可) ※共通拝観券・共通入館券は、特別公開期間中のみ使用可能です。

公開箇所	公開日(11月)							拝観料	交通
	14(金)	15(土)	16(日)	21(金)	22(土)	23(日)	24(月・祝)		
1 南宗寺	●	●	●	●	●	●	●	400円	阪堺線「御陵前」から東へ徒歩約5分
2 天慶院【南宗寺山内】	●	●	●	●	●	●	●	400円	
3 徳泉庵【南宗寺山内】	●	●	●	●	●	●	●	400円	
4 海会寺【南宗寺山内】	●	●	●	●	●	●	●	400円	
5 大安寺	●	●	●	●	●	●	●	400円	阪堺線「御陵前」から東へ徒歩約3分
6 發光院 初公開	●	●	●	●	●	●	●	無料	
7 菅原神社				●	●	●	●	無料	
8 浄得寺				●	●	●	●	無料	阪堺線「綾ノ町」から東へ徒歩約5分
9 堺市茶室「伸庵」 初公開				●	●			無料	JR阪和線「百舌鳥駅」から西へ徒歩約6分 南海バス「堺市博物館前」から南へ徒歩約4分
10 片桐棲龍堂						●		400円	阪堺線「御陵前」から南へ徒歩約3分
11 鉄砲鍛冶屋敷							●	無料	阪堺線「高須神社」から西へ徒歩約5分

共通拝観券 使用可能箇所

妙國寺 拝観券 外部 内部 C-2



堺を支配した三好長慶の弟、三好義賢(実休)が、寺地や蘇鉄を堺の豪商油屋一族出身で、日蓮宗の高僧である日班上人に寄進したことがはじまり。蘇鉄一色の枯山水の庭園【堺市指定名勝】は必見。国の天然記念物に指定されている大蘇鉄は、樹齢1,100年余りといわれ、織田信長をも怖れさせたという伝説の樹。慶応4年(1868)、堺事件の土佐十一烈士切腹の地としても知られ、堺事件資料も見ることができる。

■拝観時間 10:00~16:30
■休館日 年末年始
■拝観料 大人400円、小・中学生200円
■お問い合わせ 072-233-0369



共通入館券 使用可能箇所 基本展示のみ

堺市博物館 C-5

特別展 「日本のわざと美」展
-重要無形文化財とそれを支える人々-
・11月15日(土) 14:00~ 文化庁調査官によるギャラリートーク
・11月16日(日) 14:00~15:30
人間国宝の鈴田滋人氏による染織技術の講演会



十四代酒井田柿右衛門「濁手枝垂桜文鉢」 平成2年(文化庁)
鈴田滋人「木版摺り紗着物 早春の花菱」 平成4年(MOA美術館)

「人間国宝」とよばれる重要無形文化財の保持者や保持団体の「わざ」と「美」。陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工など、高度な伝統工芸技術を受け継ぎつつ、さらに新たな技法や表現を追求した約190点の逸品によって、日本工芸の粋を味わうことができる。

平成26年11月15日(土)~平成27年1月12日(月・祝) ※前、後期で展示替えあり
■開館時間 9:30~17:15(入館は16:30まで)
■休館日 月曜日(祝日は開館)、12月28日(日)~1月5日(月)
■特別展観覧料(入館料を含む)
一般600円(480円)、高大生300円(210円)、小中学生50円(30円)
■入館料(基本展示のみ観覧)
一般100円(80円)、高大生50円(30円)、小中学生20円(10円)
※()内は20名以上の団体料金
※堺市内在住・在学の小中学生は無料
※65歳以上の方、および障害のある方は無料(要証明書)
■お問い合わせ 072-245-6201

